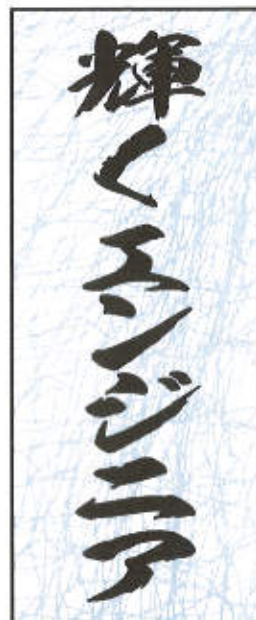


今年の 思い出



発行所
山形県立寒河江工業
高等学校PTA
山形県寒河江市緑町148
電話(86)4278

第78号
令和4年3月3日



平素より皆様にはPTA活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス等で活動が制限された中、生徒のために最善を尽くしてくださった先生方、そして保護者の皆様、日頃よりのご協力に深く感謝申し上げます。

本年度のPTA活動につきましては、山形県内での新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴い、山形市と寒河江市に独自の緊急事態宣言が出されるという未曾有の事態より始まり、



二〇二二年を振り返り

PTA会長

松田 伸一

本校生徒職員に感染者が出た場合、直ちに学校閉鎖をしなければなら

ない状況となりました。これまで以上の感染症対策が求められ、予定していた学校行事や部活動、PTA活動が困難となり前年度同様の延期や中止となりました。この現実に遺憾に堪えない思いとお察しします。

さて、この未曾有の災禍により、学力格差というワードをよく見かけます。家庭の経済格差と教育格差という現実や地域格差から生じる学力格差は社会全体の問題であり、解決するべき難しい課題であります。また、IT化やグロ

バル化が急激に進み、常に変化していく社会に対応できるスキルも必要となりました。主に現代に必要な英語力・デジタル力・コミュニケーション力・人脈力といったスキルですが学校に通っているだけでは身に付けることが難しいとされています。家庭の経済格差もあるかと思いますが、興味と必要性を持たなければ何も変わりません。親として、子どもが描いた「将来の夢」に少しでも近づけるために、またモチベーションを高めるため家庭での教育も重要だ

と痛感しております。しっかりと目的、目標を持ったせて家庭でサポートを怠らない。結果、付加価値として学力の向上に繋がると信じております。

『止まない雨はない』この言葉は倉嶋厚著作の一文で、辛いこともいつかは終わりの後に幸せが訪れることを意味しています。生徒たちが安心して勉学に励む日常が戻ると信じて心より願っております。最後になりましたが、ご指導頂きました先生方、PTA役員の皆様、そして保護者の皆様に深く感謝申し上げます。年間ありがとうございました。

各専門部より

今年度を振り返って

●総務部部長 天野 聡

令和三年度のPTA活動は、前年に引き続き、新型コロナウイルスの影響によりすべての行事を自粛せざるを得ない年になりました。昨年からはじめた新型コロナウイルス感染症による影響は、私たちの日常生活を大きく変える出来事になりました。一年延期された東京オリンピックはコロナ禍の中、無観客という異例の開催となりました。昨今の感染状況も夏にかけて、急激に増加し、各地に緊急事態宣言が出され、また夏頃から、ワクチン接種もようやく始まったこともあり、初冬に入り落ち着きを見せ始めましたが、それにもかかわらず、変異株の発生で感染者が急激に増加し、またどうなるかわからない状況が続いています。我々学年は、一年間、PTA活動の自粛を余儀なくされました。寒河江工業高校は、現在、新校舎の新築工事もあり、再来年度には新しい校舎に生まれ変わります。

一学年を振り返って

一学年主任 松田 誠樹

今年度中は寒河江工業高等学校及び第一学年へのご理解とご協力ありがとうございました。思い起こせば、コロナウイルスへの感染予防対策を行っていたものの入学式からスタートした一年間でした。入学式での新入生七九名一人一人の初々しい姿は今まで目に焼きついております。

そのような状況の中でも生徒諸君は高校から学習する専門教科に対して意欲的に取り組み、知識と技術の習得に努めています。生活面でも、遅刻や欠席がとて少なく、これらひとえに保護者の皆様のおかげと感じております。次年度以降もよろしくお願いいたします。学校行事に關しても、体育祭や学

わりです。そんな中、生徒やPTA活動も世の中の変化に合わせて柔軟に変化しながら、より活発な学校活動を期待しております。

●育成部部長 佐竹 憲司

今年度も昨年と同様にコロナウイルスの影響で殆どの活動が中止となりました。上の子も寒く高にお世話になり活発なPTA活動を拝見して来ただけに役員になっての二年間は寂しい限りでした。

育成部の活動は生徒達の姿を近くで観る事が出来るマナーアップ運動、登校時一声運動、みこし祭りがあり三年間の成長を感じながら活動できるはずでしたが残念です。

また地区ごとのボランテニア活動、先生との懇談会も中止になりPTA活動の空白によって役員の引き継ぎもままならない状態だと思えます。活動の変化も必要になるかもしれませんが寒工高PTAが素晴らしいものになるよう願っています。

最後にこれまでお世話になりました先生方やご協力頂いた保護者、役員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

●文教部部長 設楽 友弘

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響により様々な行事が中止となったことにより、文教部の活動もPTA新聞発行のみとなってしまいました。

今年度予定されていた各PTA研修会も中止となり、こういう機会ではなければお聞きできないお話や、各校の取り組み状況に触れることができなかったことが残念でした。

また、例年行われていた各部の活動や地区PTA活動の様子を皆様にお伝えできなかったことも大変心残りでありました。振り返れば、一昨年初めて文教部役員を拝命し、右も左も分からないまま各研修会への参加をさせていただいたばかりでしたが、こういった活動が普通にできる日常がいつか大切なことであるということが、コロナの脅威の中で改めて痛感したところです。

この大変な状況の中、PTA活動にご尽力いただきました先生方、PTA役員、保護者の皆様、全ての関係者の方々に深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

校祭は行われましたが、感染予防対策のために従来とは異なる形での開催となりました。また、部活動においても様々な制約の中での実施となり、生徒諸君が意図したものは異なる活動となりました。この様にコロナ対策に明け暮れた一年間でしたが、この様な状況の中でも生徒諸君は最大限の努力をし、ものづくりを通して、たくましく成長しています。

コロナ禍においても、生徒諸君は一人一人の進路目標達成に向けて日々努力しています。来年度もこの状況が劇的に改善する可能性は低いかもしれませんが、生徒諸君の目標達成のためには皆様のご理解とご協力が必要です。今後ともよろしくお願いたします。



保護者の皆様には、本校の教育活動にご協力をいただき誠にありがとうございます。

二年に亘るコロナ禍にあって、学校における活動は大幅に制限されております。こうした状況にあって、生徒の活躍の場を少しでも確保するため、徹底した感染防止対策を施すとともに、活動規模を縮小するなどの工夫を行い、何とか学校行事等を実施することができました。これもひとえに、保護者の皆様のご理解があったからこそと思っております。改めて感謝申し上げます。

保護者の皆様へ 1年間ありがとうございました



校長 渡邊 晃

さて、今年度も残りわずかととなり、一年のまとめの時期となりました。三年生は高校での学習の総仕上げとして取り組んできた「課題研究」の成果発表を学科ごとに行いました。いずれも創意工夫と身に付けた知識と技術を随所に盛り込んだ作品や研究で、本校で学んだ集大成として大変立派な発表会となりました。また、一・二年生は、冬に力を蓄えるべく日々の授業に取り組んでいます。旋盤に向かう姿やコンピュータを操作する姿をはじめ、生徒の真剣な眼差しを見るにつけ、ものづくりを通して、技能や勤勉さを身につけていくとともに人間を成長させる「工業教育」の持つ力を実感しております。

この一年を振り返ると、生徒の皆さんは、ものづくりコンテストでの活躍や技能検定等の専門教科での成果、各種コンテストでの素晴らしい成績など、たくさんの成果を上げてくれました。また、地域のボランティア活動に参加し地域の人々と交流したり、出前講座に参加し、小学生に「ものづくり」の楽しさを伝える活動に取り組んだ生徒もおりました。こうした学校内外の様々な活動は、保護者の皆様からの温かいご支援があったからこそと感じております。

いさつが素晴らしい！と地域や企業の方々に業の頂戴することがあります。お褒めの言葉を頂戴することがあります。いさつが素晴らしい！と地域や企業の方々に業の頂戴することがあります。

総務部

令和三年度

学校評価アンケート

総務部長 宇野 秀俊

会員の皆様からアンケートにご協力いただきありがとうございます。

概要は次のとおりです。
○データ比較等の観点から前年度と同じ内容で実施しました。回収率は八七・九％、職員は、〇〇％でした。
○保護者、教員共に評価が高かったのは⑤⑩でした。保護者の評価は昨年並みの評価をいただきましたが、教員の評価の中で④⑥⑩⑫が昨年より〇・三％以上低い評価となりました。
今後記述部分も含めてアンケート結果を分析し来年度に活かしていきたいと思

令和3年度 学校評価アンケートの結果 (保護者・教員)



各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか



他校からの様々な情報提供はどうでしたか



いじめの早期発見のための取り組みとその効果はどうでしたか



①全体的印象 (総合・学年PTA等の取り組みはどうでしたか)



②学習指導 (授業・定期考査・課題等) の取り組みはどうでしたか



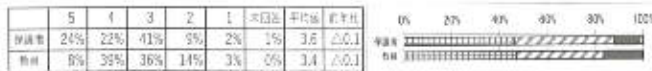
③お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしたか



④生徒会 (委員会・交通安全等) の取り組みはどうでしたか



⑤部活動指導はどうでしたか



⑥進路指導 (就職・進学・公務員等) の取り組みはどうでしたか



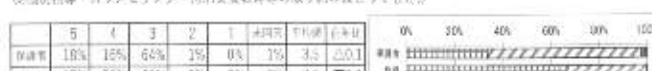
⑦お子さんの施設活動への取り組みはどうでしたか



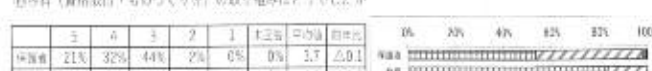
⑧体育活動 (健康・安全・食生活) の取り組みはどうでしたか



⑨個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか



⑩各科目 (算数・国語・理科等) の取り組みはどうでしたか



卒業を迎えて

三年生主任 木村 雅善

三年生の保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。また、これまでの学年運営に對しまして多大なご協力とご理解を頂きましたこと心よりお礼申し上げます。

さて、平成最後の入学生として本校へ入学してから、早いもので三年間が過ぎようとしています。思い返せば、一年次の二月に新型コロナウイルス感染症の影響で、突如、閉校となりました。学校再開後も、新しい生活様式という様々な制限の中で授業や部活動をはじめ、大会や行事等の中止等によって、肩を落とす場面も多かった高校生生活



最後に、この学校を巣立つていく生徒諸君の幸多からんことを願ひ、挨拶とさせていただきます。

保健部より

養護教諭 河村 邦子

昨年度から、新型コロナウイルス感染症が私たちの生活を脅かし続けております。

保護者の皆様には、ご家庭での健康観察や検温、マスクのご準備や体調不良時の学校への連絡等、感染予防にご協力を頂き心より感謝申し上げます。

昨年度は、未知のウイルスに遭遇し、手探りで感染予防に努め様々な保健行事を中止にせざるを得なかったのですが、今年度は、昨年度の生活から得た教訓や科学的根拠に基づき感染予防策を講じながら、以前と同じくらしいの保健行事を行うことができました。

生徒指導部より

生徒指導部長 白崎 謙

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止に努めながらの学校生活でありましたが、皆さまの御支援と御協力のおかげで生徒指導部関係の校務も無事に終えることができました。心よりお礼申し上げます。

四月開催の生徒総会で決定した今年度のスローガンは「温故知新！校内活動の徹底」でした。今年は新型コロナウイルスの感染防止対策を施しながら様々な活動に取り組みすることができました。県高校総体、若草のみち植栽活動（今年度は学校周辺の除草清掃

時に人の命を救える勇氣を持つことが期待されます。生徒保健委員会活動では、これまで行ってきたハンドソープ・消毒液補充やゴミ当番に加え、今年度は黙食・マスク着用・教室の換気呼びかけの放送を行いました。

新型コロナウイルスの第六波が県内にも押し寄せておりますが、保護者の皆様と一緒に学校でも感染症予防に努めてまいりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。



活動、体育祭、吹奏楽部および工業専門科に係る各種コンテスト、十月の寒工祭については、一般公開は行いませんでしたが生徒同士が工夫を凝らし楽しめる内容を作ってくれました。



あいさつ

前生徒会長 折原 琉



今年度も、昨年から新型コロナウイルスに悩まされた一年でした。

なかなか全校生徒が一堂に集まることができず様々な行事が中止となり、規模縮小も余儀なくされました。そんな中でも感染拡大防止をして、体育祭と寒工祭を行うことができた点はとても良かったと思います。特に寒工祭では、一年生は別室での参加となりましたが、新型コロナウイルス対策をしながら新たな寒工祭をつくることができました。

その一方、予定していたあいさつ運動などの活動を実施することができなかったり、成果と課題が残りました。来年度の生徒会には今年度の成果や課題を活かして、より活発な学校をつくってほしいです。

最後に、この生徒会活動は生徒のみなさんの協力が無ければ行うことができません。また先生方のサポートがあることでより良い活動にすることができました。一年間本当にありがとうございました。

おわりに、事故や問題行動をおよびいじめについては残念ながらゼロとはなりませんでしたが、来年度はそれらをなくするために生徒会活動を促進したいと考えております。これからも御協力よろしく申し上げます。

山形県探究型学習 課題研究発表会

優秀賞

指導者 加藤 稔



この製作・研究は四年前に当時山形大学で教鞭を執られていた先生からの依頼で三年前から活動を開始しました。駒の位置と種類を読み上げることで視覚障がい者の方が間違えることなく楽しく将棋をしていただくことを目的として続けてきました。そして年度毎に新しい将棋盤を製作し、実際に視覚障がい者の方に評価をしていただいています。次の年度にはアドバイスや改善点を踏まえての製作をするというやり方で繰り返してきました。この製作は主に電子機械科三年生の課題研究の授業で活動してきました。昨年度まで製作した将棋盤は、駒の位置のみを音声出力するものでした。今年度はそれに加え、駒の種類を判別して出力するようにしました。始めはどのように駒の種類を判別するかを調査していきながら話が進まず、企業の方々にもアドバイスをいただきながら検討していきまし。検討の結果、駒自体にカラーリングを施し、その色をカラーセンサーを使用し、マイコンにより制御する方法を用いています。はんだ付けの箇所

が千か所以上と多く、更に八十一個のカラーセンサー一つ一つの制御プログラムを作成する必要があるため、全部で九千行程度あります。課題研究の時間だけでは足りず、毎日のように放課後にも活動してきまし。木材の加工をする際にはレーザー加工機をお借りするために県立村山産業高校に行ったりもしました。レーザー加工では盤上の文字の彫刻や枠の切断をしています。そして今年度も視覚障がい者の方に実際に評価していただきました。昨年度までと比較し、大幅に改良されていることに驚かれています。また、これまで以上に間違わずに楽しく将棋を指せるのとこととで大変喜ばれていました。十二月十八日には山形ビッグウイングで開催された山形県探究型学習課題研究発表会に参加しポスター発表を行いました。これまでの生徒達の製作・研究成果を評価していただき、地域課題部門で優秀賞を受賞することができました。生徒達にはこの活動を通して学んだこと、得たことこれからの人生で活かしてほしいと思います。最後に、製作・研究において多くの方々から支援をいただきありがとうございます。



メカトロアイデアコンテスト

優勝・全国大会出場

指導者 樋口 順紀

メカトロアイデアコンテストは、最新技術やアイデアを生かした製作活動を通してロボットを製作し、数々の課題をクリアしながらポイントを競い合うロボット競技大会である。今回で三十回目の本大会は全国高等学校ロボット競技大会の山形県予選会を兼ねている。今年度の全国大会が埼玉県で開催されることから、競技ルールは埼玉県の名所や名産品に見立てたアイデムを回収・設置などを行うものだった。

昨年度はコロナの影響で県大会が中止となったが、今年度は感染防止対策を徹底しながら県大会が行われた。昨年度の先輩達の悔しい思いも晴らすべく全国大会出場を目標に掲げて活動してきた。

今回はロボットの自立走行の課題をクリアするため、機械科としては初めてArduinoのプログラミングに挑戦した。情報技術科の先生から指導をいただきながら生徒達がプログラムの内容を学習し理解して完成度を高めてきた。原因不明のトラブルが多発したことも多々あった。しかし、生徒達は諦めることなく問題解決に取り組んだ。また、大会が近くなるにつ



れて就職試験の準備と重なり製作時間の確保に苦労した。しかし、進学希望の生徒達が積極的に製作に取り組み、お互いをフォローし合いながらロボットを完成させたことで協調性が強く、まとまりのあるチームになった。とても良い雰囲気の中で県大会に臨むことができた。大会中のトラブルもチーム一丸となりうまく対応し目標としていた課題を全てクリアし優勝することができた。全国大会出場を決めた。全国大会はオンライン開催となり一次審査は通過できなかったが、ロボット製作の活動を通して生徒達は改めてものづくりの楽しさを強く実感していた。

新生徒会長として

新生徒会長 奥山 海翔



この度、新生徒会長に就任した二年情報技術科の奥山海翔です。昨

年は、生徒会常任委員として活動し、先輩方の下でたくさんのお話を経験することができました。その中でも、折原前生徒会長の真面目さと行動力を見習わなければいけないと思っています。

私が目指す理想の生徒会長は、ユーモアもあり積極的に行動できる会長です。この目標を達成するために自分の長所や能力を最大限に活かしていきたいです。自分の長所はコミュニケーション能力があることだと思っていますので、先生方や生徒全員とどんどん会話をしたいと考えています。また、最近ではコロナウイルスの感染者が拡大してきています。校内での予防の呼びかけも徹底して、できる限り多くの学校行事を行えるようにしていきたいです。明るく元気な寒河江工業高校をつくるため一杯頑張ります。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

個の力の結集をめざして

野球部顧問 山本 勇

今年度の野球部は三年生が九名、二年生が八名、一年生が十二名、合わせて二十九名での活動であった。

昨秋以降、連続ディーパーテン、山ランに力を入れ、丁寧な投球をするエース武田隆と長身から投げ下ろす左腕高橋を中心に、三年生を軸に打ち勝つチームを目指して、日々の練習に励んできた。

春は村山地区予選を勝ち抜き、県大会に出場。鶴岡南を二〇対六で破



進路指導部より

進路指導部長 佐々木裕章

進路希望を実現させた三年生の皆さん、内定・合格おめでとーございます。

今年度の進路状況を報告します。三学年の在籍は一〇四名、公務員を含めた就職が、約四割（昨年度約七割）となっていました。本校ではこれまで就職希望者が圧倒的に多かったのですが、新型コロナウイルスによる社会情勢の変化で、生徒達の進路に対する意識が変わり、進学者が大幅に増えたものとみています。

民間就職内定者は四四名、県内が三八名、県外が六名で、就職希望のほとんどの人が自宅から通勤できる県内企業を希望し、相変わらず地元志向が顕著です。

り、二回戦に進むも、米沢中央に三対七で敗れ、県ベスト16の結果となった。

夏は鶴岡中央・庄内総合連合チームを八対一で下し、二回戦に進むも、山本学園の一四〇キロ左腕背井投手の前に十七三振を奪われ、二対六で敗れた。敗れたとはいえ、背井投手から足を使つて二点を奪い、二年の石山も二安打と粘りの打撃を見せた。新チームで臨んだ秋は、地区一次予選で山形城北に二対一八で敗戦。二次予選は左沢を二〇対〇で下して代表決定戦に進むも、山形南に二対七で敗れた。三次予選も寒河江に二対一五で敗れ、今年度の公式戦が終了した。

シーズンオフの現在は、個のレベルアップを重点に活動している。走ることやウエイトトレーニングを行うことで体力向上に努め、また数多くバットを振

情報技術科工業研究部

顧問 鈴木わか奈

今年度は、ロボット相撲選手権やWRO山形地区大会出場など活躍してきた。中でもマイコンカーラリー県大会では、BASICクラスで一三位を独占し、全国大会出場の切符を手に入れた。しかし、コロナの影響により大会が中止になってしまったことはとても残念である。海洋ゴミ回収ロボット製作では、海と日本プロジェクトの発表・

り込むことで打撃力をつけ、さらには野手もブルペンに入り、投球練習を行っている。

来春、来夏と個の力を結集することで総合力を高め、チームワークを発揮し、実践力のある強いチームとなるよう、日々の練習に励んでいる。

二学年を振り返って

二学年主任 菊池 敏宏

今年を振り返るとやはり新型コロナウイルスの影響が様々な面に表れてしまった一年でした。そんな中で関係各位のご協力により、インターンシップを例年通り七月に実施できたことは幸いでした。来年の就職本番を前に、自分自身の将来について真剣に考え、実際にやってみることで更に深く考えることができればと、一人の希望を優先して実習先を決定し、電話でアポを取り事前打合せを行いました。全員が本来の目的を理解し真剣に取り組んでくれたと思います。九月一日には学年の報告会を実施し全体で共有することができました。事後のアンケート等を見ると企業の方からも好印象を持って頂いたようです。

展示を通してSDGsを知るきっかけとなった。

また、市内の小学校を対象にプログラミング教室を始め、体験イベントやモノ作り教室を開催することができた。白作のkinecctゲーム、電動キックボード試乗、シャボン玉連射器の実演、LEDライト製作、ミニマイコンカーのプログラミングなど、解りやすく伝えるにはどうしたらいいのかが、試行錯誤しながら回数を重ねる毎に成長の様子が見えた。純粋に楽しんで小学生の姿を見て、プログラミングは楽しんで身に付けるといふ発想の切り替えができたように感じた。

ものづくりに偏り、自己満足に終わってしまいがちな活動が、外部の方々に使ってもらい、その場で反応を見ることが、改良を行い、次のアイデアを生み出すきっかけとなったことは大きな成果であった。

これからの活動として、市内小学校に「ドローンプログラミング体験教室」の出前授業を告知している。この活動を通して生徒の成長はもちろん、将来寒河江工業高校で学びたいという、子どもたちの育成にもなるのではないかと期待している。



しかし、高校3年間で最大の行事である修学旅行は残念ながら一年延期となってしまいました。新型コロナウイルスの感染状況にもありますが、有意義な旅行になるよう柔軟に検討していきたいと思っています。

さて、現在オミクロン株が全国で猛威を振るっています。依然として先行きが見通せない状況が続いていますが、そろそろ自分自身の将来について真剣に考える時期に來ています。学校でも様々な行事を通して、情報提供していきますのでご家庭でも参考にしてください。

三学期は一年を締めくくる大事な時期です。全員が三年生に進級し、それぞれの進路目標が達成されることを願っています。

